

事業所名

すぎの子

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

20 日

法人（事業所）理念	すぎの子では、心身の発達に遅れや障害、あるいはその心配のある子どもたちに対して、家庭や学校とは異なる時間、空間、人、体験等を通じて個々の子どもの状況に応じた児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業を行います。 法人といたしましては、児童福祉法及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業や指定障害福祉サービス事業を行い、それによりすべての人々が元気に暮らせる地域生活支援に努め、地域福祉の増進を図ることによって、地域社会の利益の増進に寄与することを目的とします。							
支援方針	十人十色、子どもたちの個性は一人一人違って当たり前。そんな「当たり前」を大切にしながら、子ども自身が将来社会に出ることを想定した支援や、自己肯定感を大切にするための療育を行います。 また、個性豊かな子どもを育てる中で、保護者自身が悩みや喜びを話したり、聞いたり、共感する場所を作り、関係機関とも協力をし、家族が笑顔で過ごせるよう応援していきます。							
営業時間	10 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり（金峰町内は全域、加世田の一部の地域と吹上町は範囲指定有）
3w								
本人支援	健康・生活	子どもたちが健康的で自立した生活を過ごすことが出来るように、スモールステップで一緒に取り組みます。 ・ 毎日の検温、手洗い、消毒をおこなう ・ 生活リズムや生活動作がスムーズにいくように支援をおこなう ・ 安心して過ごせることが出来る居場所になるような支援、基礎的な生活を送れるような支援をおこなう						
	運動・感覚	感覚刺激を取り入れた手先の細かい作業や、遊び・トレーニングで身体を動かして身体を鍛えます。また、視覚・運動感覚の統合、協調運動の向上をはかります。 ・ アイロンビーズ、工作等の活動を通して手先の巧緻性の向上と感覚認知形成をはかる ・ 活動を通して身体を動かし、身体の使い方を学ぶ ・ 身体の感覚や様々な感触に触れ、感覚の統合をはかる						
	認知・行動	認知の特性に合った活動を通して、認知機能を高めます。 ・ 積木、時計、タイマーなど補助的教材を活用し視覚的支援を提供 ・ 宿題など学習をおこなうルーティンを身につけていく ・ 身近な例をもとに考えるソーシャルスキルトレーニングの実施						
	言語コミュニケーション	様々な機会を通じて、言語の発達に合わせたコミュニケーション能力を高めます。 ・ あいさつや日常の会話を通して円滑なコミュニケーションをはかる ・ 会話の中から自分の気持ちに気がつき、発信できるように支援をおこなう ・ 適切な言語のチョイスがおこなえるように、語彙力の向上をはかる						
	人間関係社会性	社会性や円滑な対人関係の発達を促していく環境調整及び関わりを実践していきます。 ・ 一人遊びや集団遊び（カードゲーム・ボードゲーム等）を通し自己理解や他者理解をやしなう ・ 外活動で買い物をおこなったり、公共の施設を利用することにより公共のマナーに関する知識をやしなう ・ 大人になり社会の一員として過ごせるように、それぞれのタイミングに合わせた将来についての活動支援をおこなう						
家族支援	家族や本人が気軽に相談することができるような取り組みをおこないます。 ・ 連絡帳、LINE、電話や送迎時など ・ 定期的個別面談や随時受け付けている個別相談 ・ 月に1回「すぎの子カフェ」の開催や学習会の開催				移行支援		学校や家庭と連携を図り、過ごしやすい環境の調整や支援への取り組みについて情報共有をおこない、子ども一人一人に合った対応をおこないます。	
地域支援・地域連携	学校・相談支援事業所・他事業所・行政等、地域との関係を持つことにより、子どもファーストの支援をおこなうように連携をおこないます。				職員の質の向上		自立支援協議会の参加、事業所内外での研修参加等、職員の質の向上をおこなう為の取り組みをおこないます。	
主な行事等	お誕生日会（毎月）、園外活動（7月8月1月）、避難訓練（8月）、お楽しみ会（8月）、ハロウィンパーティー（10月）、クリスマス会（12月）、節分（2月）、春のおでかけ（3月）							